

第45回

ものづくり現場リーダーの苦闘と喜びの奮闘記!! 生の声だから伝わる、学べる2日間!!
逆境に負けない第一線監督者の集い! 会場で監督者の生の声と熱を感じてください!!

第一線監督者の集い：名古屋

《会期》2027年 1月27日(水)・28日(木) 2日間 (27日/ 9:30~16:40 ・ 28日/ 9:30~16:40)

《会場》ポートメッセなごや コンベンションホールA

(敬称略)

【1日目】1月27日(水)

9:30 開 会 主催者挨拶・イントロダクション

❶ 失敗から学び実を結んだ成功体験 ～ 怒りによる過ちと余裕から生まれた自信 ～



トヨタ紡織
大口岐阜工場 大口製造部 大口製造1課 職長 井上 克己

飲食店勤務から未経験の製造業へ転職した私が、悪戦苦闘しながらモノづくりに向き合い、努力を重ねて昇進する一方で、部下や同僚との人間関係に悩まず、失敗を経験しました。本発表では、怒りから生じた過ちを教訓に変え、心の余裕と自信を得て成功へつなげた体験をご紹介します。

❷ シェアハピって誰のため？ ～ 支えられた私が次の一歩をつなぐため ～



東海理化
本社工場 本社部品生産部 工場技術課 工場技術係 1班 班長 村川 梨恵

「頑張れば何とかなる」だけでは人も組織も成長し続けられない。自身の18年間の経験を振り返りながら、一人で頑張る時代から一人ひとりの挑戦を支え合う時代への変化と「みんなでシェアハピ」を軸とした職場づくりへの挑戦について紹介します。

❸ 順風満帆に見えた会社人生 その裏にあった若手管理者の孤軍奮闘記 ～ 技能と人財育成へのあくなき挑戦 ～



東芝産業機器システム
モータドライブ事業部 モータドライブ製造部 機械加工課 製造長 水谷 凌

順風満帆に見えたキャリアの裏で数々の苦労や挫折を経験。予想もしない環境変化を乗り越え、技能五輪で培ったチャレンジ精神を原動力に、自らの経験を後輩育成、年上の部下や同僚との信頼関係からはじめ、職場活性化とメンバーの技能とモチベーション向上に取り組みを紹介します。

❹ 誰でも、いつまでも ～ 鉄鋼女子誕生から今日まで ～



大同特殊鋼
知多工場 品質保証室 工長 片山 智晴

長い会社の歴史の中で初の女性作業者が誕生。彼女たちが、通常の業務を行う中での苦労や葛藤、様々な経験を経て成長する姿。また、女性作業者が男性社会の現場に来て、私たち管理監督者が、彼女たちとともに成長し、職場に新しい風を巻き起こした事例になっています。

❺ 「気づいたら、即行動」 ～ 部下と共に進める製造保全人材の育成 ～



アイシン
岡崎電子工場 製造室 第3製造課 第1係 工長 白井 孝康

設備トラブルの再発と部下の意欲低下に危機感を抱き、自らのマネジメント不足を反省。「気づいたら、即行動」を信条に、部下の声を拾い、IT・保全部門を巻き込んで見える化とDXを推進した。創出した時間を保全教育に充て、部下が自ら再発防止に取り組む職場へ変革した。

質問票記入 / 休憩

❶～❺ 質疑応答

昼 食 休 憩

❻ 『俺がルールブック!』だった私の変化 ～ 管理監督者としての成長と 人材育成の転換 ～



ダイハツ工業
京都工場 池京製造部 京都プレス課 係長 糸井 一希

以前の私は「俺がルールブック!」そんなやり方で育ってきたが、それが管理監督者に求められる事だと考えていました。しかし、様々な出会いや経験を積み重ねる中で、自分自身に心境の変化があり「正解は1つだけじゃない!」と言う事に気づき、それに伴い周りも変化していき、共に成長していく姿を紹介します。

❼ 見ていたのは目先の成果、 見ていなかったのは部下の本音 ～ 部下が気付かせてくれた真のマネジメント ～



NGK
エンバロメント事業本部 AC製造統括部 AC工場 第3製造G CN推進 係長 山本 猛

海外工場での「人の成長が全てを機能させる」を信念に現地化を実現。帰任後は成果に執着するあまり部下の成長支援を見失い、モチベーション低下を招いた。しかし部下の一言を機に原点を見つめ直し、成長型プロジェクトを通じて個人とチームの成長を実現した挑戦を紹介する。

❽ 相手を理解する事で始まる、 多様性が活きるチーム作り ～ 救世主に学び進める、 チームを一つにする自己変革 ～



フジテック
生産本部 電気製造部 グループリーダー 辻川 龍汰

順調にキャリアを重ね、自信に満ち溢れる中、リーダー就任。しかし、就任を機に状況は一変。「自信」が「過信」となりメンバーとの関係途絶。周囲から孤立する最悪の職場環境を招き挫折を味わうことに。その様な私を見兼ねた救世主から救いの手が。自身の未熟さに気づき、チームの為に自己変革に挑んだ物語です。

❾ 改善で変えた未来を、 維持で当たり前にする ～ できないを越えて… 仲間とつくる未来の現場 ～



村田製作所
野洲事業所 電極材料製造部製造2課 リーダー 東 亮平

「変えたい。でも、簡単には変えられない。」大量の危険物を扱う現場には多くの制約があり、改善は容易ではありません。それでも仲間と何度も対話し、一歩ずつ改善を重ねました。一人が10歩進むより、10人が一歩ずつ進む。改善を維持し、当たり前に変え、さらに進化させる。皆で強い職場をつくった挑戦をご紹介します。

質問票記入 / 休憩

❻～❾ 質疑応答 / コーディネータによる投票ガイダンス

最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) 投票 / 休憩

【全体総括】
発表企業の重点課題テーマまとめ

最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) の発表・表彰

明日のご案内・閉 会

【2日目】1月28日(木)

9:30 開 会 主催者挨拶・イントロダクション

❶ 150人の多様性を受容して 掴んだ繋がる力!! ～ 窮地で気づいた協調と共感 ～



富士フィルムマニファクチャリング
再生機・モジュール製造部 製造グループ 製造3チーム リーダー 小野 佑斗

「自分でやった方が早い」と考え、仕事も悩みを抱え込んだ私が窮地に陥り変わりました。当時の職場は、言語・年齢・価値観がバラバラな150人のメンバー、且つ生産は常に厳しい納期。多様なメンバーに私の考えが通用しない…自分を見つめ直す事で協調と共感の大切さに気づき、仲間と共に歩む監督者へ変革した事例です。

❷ 『私ができる』から『部下ができる』へ ～ 3つのオキテで築く、 風通しの良い職場づくり ～



豊田自動織機
エレクトロニクス事業部 製造部 製造一課 係長 天野 公貴

私は「ラインを停止させないこと」が職制の役割だと考え、自ら対応することで部下の成長機会を奪っていました。その反省から「3つのオキテ」を軸に、人を育てる関わり方に転換。対話と職場改善を通じて、風通しの良い職場づくりに挑戦した取り組みを報告致します。

❸ 出会いが成長を創る ～ 出合いを戦略に、成長を文化に ～



デンソー
幸田製作所 システムコンポ事業G / センシング事業部 / センシング製造部 / センサ1工場 / センサ生産2課 / 組付3 係長 仲間 亮太

私の成長の原点は、「出会い」にあります。様々な出会いの中で、多くのことを学び、挑戦、成長してきました。成功や失敗も、成長させてくれた大切な出会いでした。大切にしたいのは、出会い・成長のきっかけをつくること。出会い・成長を特別なものではなく当たり前にする。第一線監督者として人が成長し続ける現場を創る。

❹ あの日の一言が私を変えた ～ 仕事を甘く見ていた私が 管理者として成長するまで ～



グローリープロダクツ
製品統括部 佐用製品部 佐用OEMグループ グループマネージャー 長谷川 方俊

「そんなやつに大事な仕事を任せられるか!」かつて上司から掛けられた忘れられない一言です。その言葉をきっかけに、自分の弱さや向き合い、機械を知り、人を知り、管理者として成長してきました。失敗や反省、そして気づきの連続だった私の成長ストーリーをお届けします。

❺ 自分らしく 1人ひとりに寄り添うリーダー ～ たどり着いた私のリーダー像 あなたのリーダー像は? ～



トヨタ自動車
元町工場機械部 物流課 工長 鮫島 美紀

これまでの会社生活の中で人との出会いの度に自らを振り返り、自分を理解した上で自分に合ったリーダー像を模索することで辿り着いた私だけの通過点。皆さん1人ひとりのリーダー像を考えるきっかけになると嬉しいです。

質問票記入 / 休憩

❶～❺ 質疑応答

昼 食 休 憩

❻ 絶望の中で見えた希望の光 ～ あの日の言葉を胸に ～



フタバ産業
六ツ美工場 製造部1課 係長 土田 将一朗

「現場は人」という教えを原点に、北米支援で培った問題解決力とコミュニケーション力を活かし、現場の声を起点とした改善活動とQC教育を推進。人を巻き込み、現場の力を引き出すことで生産性向上に挑戦しました。人を大切に、共に成長することで成果を生み出した実践事例を紹介します。

❼ 過去を語り、人を育て、未来へつなぐ ～ 「伝える」から「動かす」への挑戦 ～



ヤマハ発動機
生産本部 製造統括部 車体製造部 生産2課 第1工場 職長 野沢 智亮

監督者になった当初は分からない事ばかりで毎日が手探りでした。私が監督者として歩む中で多くの先輩監督者や現場の仲間から大切な事を学びました。人と向き合い続ける中で「伝える」から「動かす」へ。受け継いだ学びを次の世代へつなぎながら現場をより良くする為に挑戦し続ける新米監督者の奮闘をお伝えします。

❽ 個人商店からの脱却 ～ ベテランと若手の懸け橋に ～



リョービ
ダイカスト生産本部 静岡工場工務課 保全係 係長 渡邊 幸二

自分が理想とするリーダー像と自身とのギャップの中で日々悩み、係長就任後、悩みが大きな不安に変わりました。係員と向き合い意見を聞くことで、技能向上の大切さ、若手の思いに気づきました。ベテランと若手の懸け橋となることにより課題が解決でき、不安を新たな理想のリーダー像に向けた取り組みに変えた事例を紹介。

❾ 「分かっているつもり」から始まった、 前工程職場のしがらみ (当たり前しごと)への殻破り



ダイキン工業
滋賀製作所 空調生産本部 滋賀製造部 製造第二課 職場長 廣瀬 広大

組立ラインで培った経験を胸に前工程へ。しかし、そこで待っていたのは、歴代語り継がれた「当たり前しごと・常識」でした。現場を支え続けた職人気質、経験・体験から生み出した「カン・コツ」を認めながらも、分かったつもりだった自分を見つめ直し、仲間と共に歩みだした職場の奮闘記を紹介します。

質問票記入 / 休憩

❻～❾ 質疑応答 / コーディネータによる投票ガイダンス

最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) 投票 / 休憩

【全体総括】
発表企業の重点課題テーマまとめ

最優秀事例賞 (大野耐一・杉山友男賞) の発表・表彰

閉 会



会期 2027年 1月27日(水)・28日(木) 2日間

27日/ 9:30~16:40
28日/ 9:30~16:40

会場 ポートメッセなごや コンベンションホールA

第一線監督者の心構え

- 一、相手に伝わる言葉で表現すること
- 一、一人一人と語り合い、向き合うこと
- 一、部下を信じて任せ、挑戦させること
- 一、結果ではなく、行動を褒めること

- 一、誠実かつ謙虚で信頼されていること
- 一、目的志向で論理的思考を持っていること
- 一、自分を磨き、人の手本となる行(考)動をとること

沿革

本大会は、1982年(昭和57年)当時の日本能率協会中部地域評議員会・議長である故・大野耐一氏〔当時 豊田紡織(株)相談役〕のご尽力を得て、第1回目を名古屋で開催いたしました。以来40年以上にわたり、各社で活躍される第一線監督者の方々による職場活動事例の発表と情報交流の場として毎年実施しております。

開催のご案内

《企画委員長》

株式会社豊田自動織機
人事部 キャリアパートナー

桑野 安史 氏

このたび、「第一線監督者の集い：名古屋」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は数年前に「変わる事、変わらない事、そして変えたくない事」という言葉について考える機会がありました。

私たちを取り巻く環境は、かつてないスピードで変化しています。AIをはじめとするデジタル技術の進歩、多様化する働き方、SNSを活用したコミュニケーションなど、製造現場を取り巻く環境も大きく様変わりしています。監督者には、こうした変化を理解し、新たな技術や考え方を柔軟に取り入れていく姿勢が求められています。

一方で、人の本質はそれほど大きく変わってはいないと思います。新しいことへの不安、慣れたやり方を手放したくない気持ち、失敗を恐れる心、仲間にも認められたいという思い。これらは昭和も平成も、そして令和の現在も変わらず存在しています。

だからこそ監督者には、変化を求めるだけではなく、人が変化に向き合えるよう支援し、導く役割が求められているのではないのでしょうか。ITやDXの推進により、国内外を問わず企業間や現場間の技術的な差が縮まりつつある今、最終的に現場の競争力の差を生み出すのは、最前線で人を導くリーダーの「人間力」に他なりません。

どれほど時代や技術が進歩しても、私たちが変えたくないものがあります。それは、人を思いやる心であり、互いを信頼する関係であり、人を育てるという使命です。

監督者の仕事は決して効率だけでは語れません。部下の話に耳を傾けること、悩みに向き合うこと、成長を促すこと、どれも手間がかかり、面倒なことかもしれません。しかし、その面倒なことから逃げず、一人ひとりと真摯に向き合う姿勢こそが「面倒見」であり、監督者に求められる大切な資質だと私は考えています。

人材育成とは、自らの後を託せる人材を育てることです。次の時代を担う人材を育て、組織を未来へつないでいくことこそ、私たち監督者の重要な役割ではないのでしょうか。

本大会では、発表企業の監督者の皆様から、変化する時代の中で何を換え、何を守り、どのように人と向き合いながら組織をまとめ、人材育成に取り組んできたのか、その実践をご紹介します。その経験や知恵は、参加される皆様にとって多くの気づきと学びを与えてくれるものと確信しております。

本大会が、監督者としての役割を改めて見つめ直し、職場の未来を考える有意義な機会となることを願い、ご挨拶といたします。

第一線監督者の使命

人・組織の成長

高い志を持ち、職場を活性化し、部下の成長を促せる

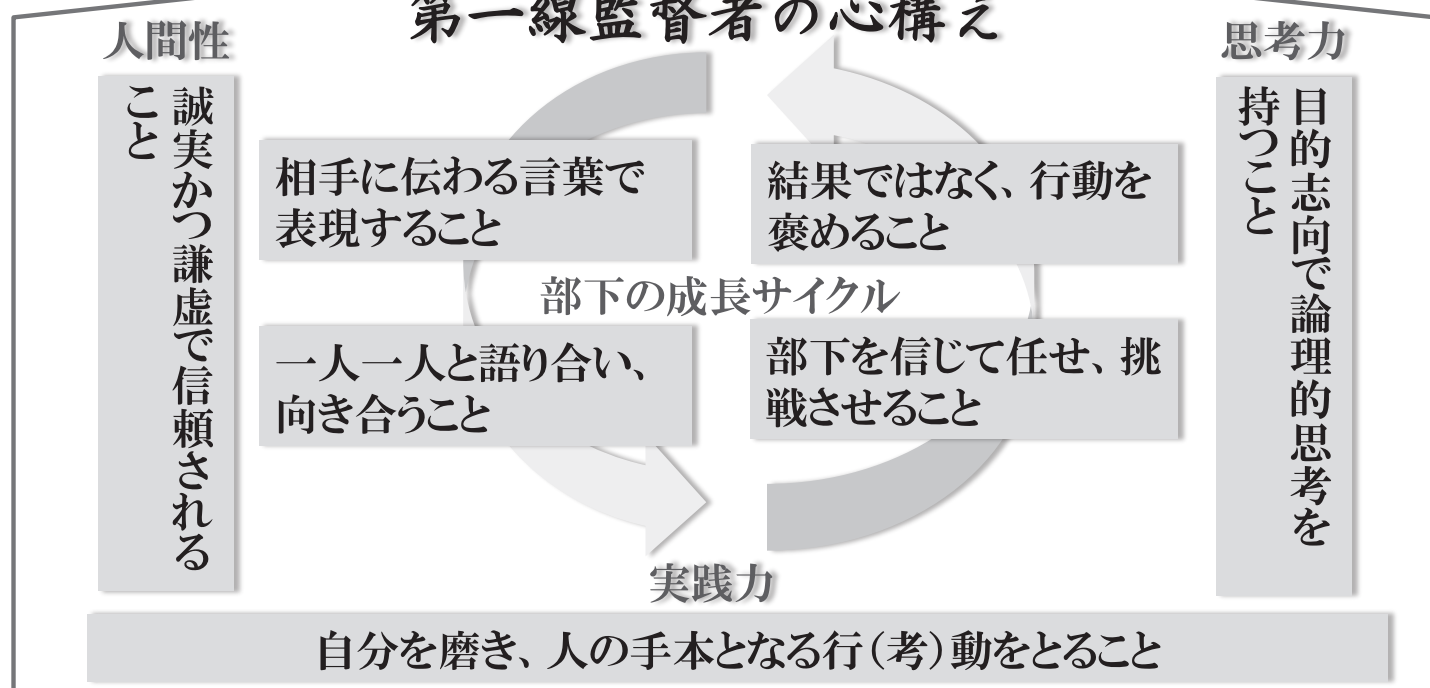
愛情

「人・組織」
「業務・現場」
の両輪を牽引
するリーダー
情熱

業務改善・現場力の向上

率先垂範して、問題解決に取り組み、成果を出し続ける

第一線監督者の心構え



第45回 第一線監督者の集い:名古屋 企画委員会

(敬称略 所属名五十音順) 2026年 7月 1日 現在

- 委員長 株式会社豊田自動織機 人事部 キャリアパートナー 桑野 安史
- 主 査 株式会社日本能率協会コンサルティング SX&パブリック事業本部 本部長 茂木 龍哉

運営委員

株式会社アイシン	ものづくり人事部 SX	伴 純一
オリンパス株式会社	OTS シニアマネージャー	原 裕之
株式会社金沢村田製作所	生産革新係 マネージャー	加藤 晴哉
株式会社クボタ	製造統括ユニット KPS推進部 担当課長	小宮山賢吉
グローリー株式会社	生産本部 グループ生産統括部 埼玉製造部 副統括部長	高本 紀一
ダイキン工業株式会社	空調生産本部 滋賀製造部 兼フィルター事業本部ものづくり支援専任部長	小倉 博敏
大同特殊鋼株式会社	モノづくり改革部 改善力育成室 副主任部員	古賀 清典
ダイハツ工業株式会社	工務部総括室 主担当員	中川 智雄
株式会社デンソー	技能人材養成部 担当次長	立石 勝
株式会社東海理化	生産調査部 TPS企画総括室 主任	住田 正人
東芝産業機器システム株式会社	生産部 生産製造技術センター シニアマネージャー	下津 久明
トヨタ自動車株式会社	生産本部 人事室 主査	深津 敏昭
トヨタ紡織株式会社	統括室 室長	大河原幸浩
NGK株式会社	品質経営部 グループマネージャー	川越 猛
パナソニックホールディングス株式会社	コーポレートR&D戦略室 MI技術企画部 モノづくり企画課 課長	池上 正弘
富士フイルムマニファクチャリング株式会社	事業推進部 部長	野口 健
古河AS株式会社	ものづくり改革本部 本部長	京道 英治
ヤマハ株式会社	生産統括部 工場管理部 人材支援グループ グループリーダー	岡本 拓
ヤマハ発動機株式会社	生産本部 生産戦略統括部 モノづくり人材戦略部 人材育成グループグループリーダー	清水 宏二
リョービ株式会社	ダイカスト生産本部広島工場TPM推進課 係長	濱岡 伸幸
ロームデバイスマニファクチャリング株式会社	LSI生産本部 本部長	濱口 正樹

参加申込規定

■ 参加料 (税込)

《会場参加》

	参 加 料 (税込)	
一般社団法人日本能率協会会員	1日	27,500円／名
	2日間	50,600円／名
上記会員外	1日	30,800円／名
	2日間	57,200円／名

※上記金額は1名様料金となります。 ※参加料には昼食代・テキスト代が含まれております。

■ キャンセル規定

開催15日前～開催8日前(開催当日を含みます) 参加料の10%
開催7日前～前々日(開催当日を含みます) 参加料の30%
開催前日および当日 参加料全額
電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万ーキャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。
(注) キャンセルの場合は必ずJMAスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

■ 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。
詳細はHPをご覧ください。 <https://school.jma.or.jp/entry/index.html>

■ 個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報等保護方針 (<https://www.jma.or.jp/privacy>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

■ 会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。会員外の方はこの機会には非入会をご検討ください。

■ プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)

一般社団法人日本能率協会
「第一線監督者の集い：名古屋」事務局
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL: 03-3434-6616

■ 会場案内

ポートメッセなごや
〒455-0848
愛知県名古屋市港区金城ふ頭2丁目2
TEL: 052-398-1771

【交通案内】
<https://portmesse.com/access>



お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

パソコン (各種検索サイト) から
ダイレクトで

セミナーID(半角数字)

JMA100331

検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>※申し込みに関するお問い合わせ先 (請求書・キャンセル・変更などに関する内容)
JMAスクール <https://school.jma.or.jp/contact/>